

エコロジカルなシステムによって

より快適で健康な建物を作る

株式会社 マーベックス

「室内空気」を科学する株式会社マーベックス。「目に見えない快適性を伝える会社」として2001年の創業以来、換気システム、オーニング（日よけ）、外壁材など、数多くの製品を手がけ、どこにも無い、独創性のあるオンリーワン製品を生み出してきた。今回は、代表取締役の本田善次郎氏にお話を伺い、創業の歴史から、生涯ものづくりに携わりたいという想いを伺いました。

―生涯ものづくりに携わりたいという想いで設立

私は、もともと大手化学品メーカーで34年間断熱材の研究開発を行っていました。研究開発一筋で仕事をやってきましたが、定年を間近に控えたとき、自分のやりたいことを仕事にしたいという想いが芽生えました。そこで、独立を決意し、2000年10月に退職し、約8か月の準備期間をおいて2001年6月に(株)マーベックスを創業しました。

独立を考えたとき、すぐに「これからはエコの時代が来るだろう」と思いました。エコで、より快適で、健康な家、こういったものを作りたいと思いました。これが社名の(株)マーベックスです。「More Amenity and Healthy Building by Ecological System」即ち「エコロジカルなシステムによって、より快適で健康な建物を作る」この頭文字をとってMAHBEXです。この範囲のものならなんでもやるという想いで創業しました。

―建築法改正によって飛躍

独立した時、自分の好きなことをするために、まず、我が家を作りました。私が手掛けた家は、「木のあらかわの家」です。一般的な家は、柱が壁の内側にあるため、木は見えません。私はその柱が見える家を作りました。木が見えるとなると1階、2階それぞれの上

部に本来なら存在する屋根裏、天井裏がありません。そうすると、1階の天井裏に換気装置を設置するのが一般的ですが、私の家には設置スペースがなかったので1階の床下に設置しました。こうして、これまでの常識とは違う新しい発想の家が生まれました。

こんな家では、マニアックなお客様にしか売れませんが、私は自分の好きなことが出来たので良かったと思っています。

飛躍のきっかけになったのは、2003年の建築法改正です。改正に伴い、住宅の換気が義務化になりました。それまで換気の必要な場所は、お風呂場、お手洗い、洗面所、キッチンのみでしたが、改正によりすべての部屋で換気が必要になりました。これは大きなビジネスになると確信し、住宅業界に飛び込みました。



同社が手掛ける熱交換装置「澄家DC」換気システム

私は熱交換装置に注目しました。ただの換気装置では付加価値がなく、他社に負けてしまいます。当社の売りでもある、「エコロジカルなシステム」



株式会社 マーベックス

代表取締役：本田 善次郎 氏

本社：大阪府東大阪市吉田本町2-3-30

創業：2001年（平成13年）6月

従業員数：69名（2019年4月現在）

事業内容：住宅用換気システムの販売



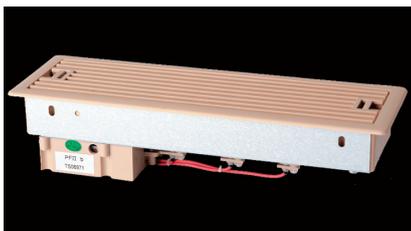
■ 楽々(らら)シェード

夏は日差しを遮り涼しく、冬は日差しを取り込み暖かい暮らしを後押しする。外付なので、太陽光からの熱を防ぐだけでなく、直接窓ガラスが温まること自体を防ぐことができるので、室内の温度上昇を抑えられる。



の信念のもと、省エネの熱交換換気装置を開発しなければいけないと思いました。また、“木のあらかしの家”をヒントに床下設置という他社との差別化も図りました。

換気口を床面に付けるのは一般的ではありません。しかし、換気の効率を考えると換気口は床面設置というのが一番良いのです。ハウスダストというのは床上50cm以内に溜まります。床面に換気口を付けていることで、ハウスダストを吸い込みやすく、換気の効率が良いのです。



床面の空気を取り込む給気口
「プラズマフレッシュ(R)」

— 市場確保のために 力を入れる製品開発

住宅市場は少子高齢化に伴い、これから確実に完全に小さくなります。大手企業は合併や海外進出を行っているため生き残っていけますが、我々のような中小企業は、なんと少しでも生き残っていかなければなりません。

当社の製品はエコに特化しているので、住宅市場が減っても売上が激減するという事はないでしょう。しかし、

じっとしているわけにはいきません。将来を見据えて色々な製品を開発していかないといけません。何でもアイデアが良いと思ったらすぐに開発に着手してきました。会社の「エコロジカル、快適、健康」これに関する商品であれば何を作っても良いのです。



水道直結型の加湿器「楽々モイス」

当社は、私が製品開発を担っていました。これからは若い世代にも製品開発をしてほしいと思っています。ただ、商品開発というのは経験が必要です。若手が多い当社で今すぐに開発となると負荷が大きく、経験も浅いため、開発に苦戦します。当社は、そういった悩みを解消するため、他社で定年を迎えた技術者を再雇用しています。OBの皆さんは関西の大手企業で研究開

発をされてきた人ばかりです。この方々の技術力があるので商品開発が円滑に進んでいます。私どもが大企業に負けていないのはこの技術力があるからです。

— 社長の想い

これからの(株)マーベックス

将来、戸建ては減っていきます。減少する市場の中で当社は、生き残っていかなければなりません。今の時代、いつ会社が倒れるかわかりません。大手企業でも2年あれば倒産します。中小企業なら1年もかからないでしょう。そのため、私はつねに会社を成長させていく義務があります。従業員の幸せのため、会社を成長させ、将来を保証してあげることが私の務めです。従業員に良い会社に入ったと言ってもらえると嬉しい限りです。

私は3年後、会社が成長しているという自信を持っています。従業員が希望を持っていないような会社では、従業員のモチベーションが低下し、成長できません。会社というのはチームワークです。私も従業員と一緒に会社を成長させていけるように、生涯現役で尽力します。

— 貴重なお話をいただき

誠にありがとうございました。